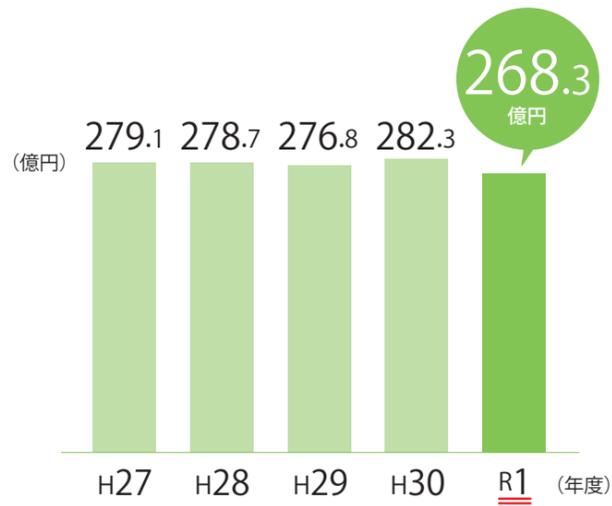
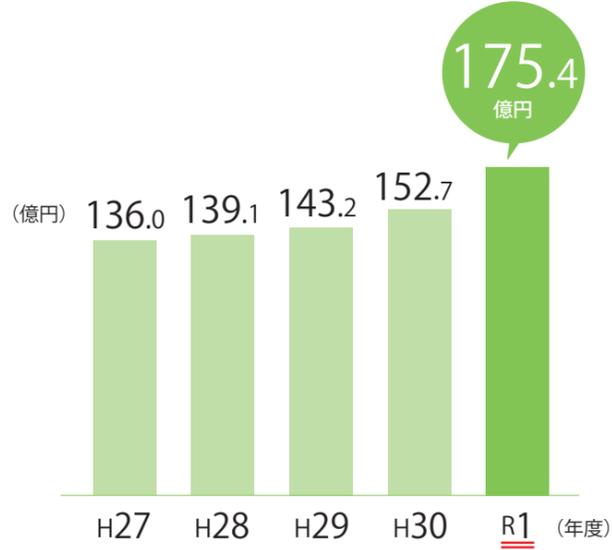


# お金のやりくり 貯金と借金



ふるさと納税や市有財産の売却益の積み立てなどにより、貯金が前年度から22億7千万円増加し、175億4千万円になりました。

令和元年度は大型施設整備が少なかったため、借金は14億円減少し、268億3千万円になりました。

# 収支は5.8億円の黒字<sup>△</sup> (繰越額2.7億円を除く)

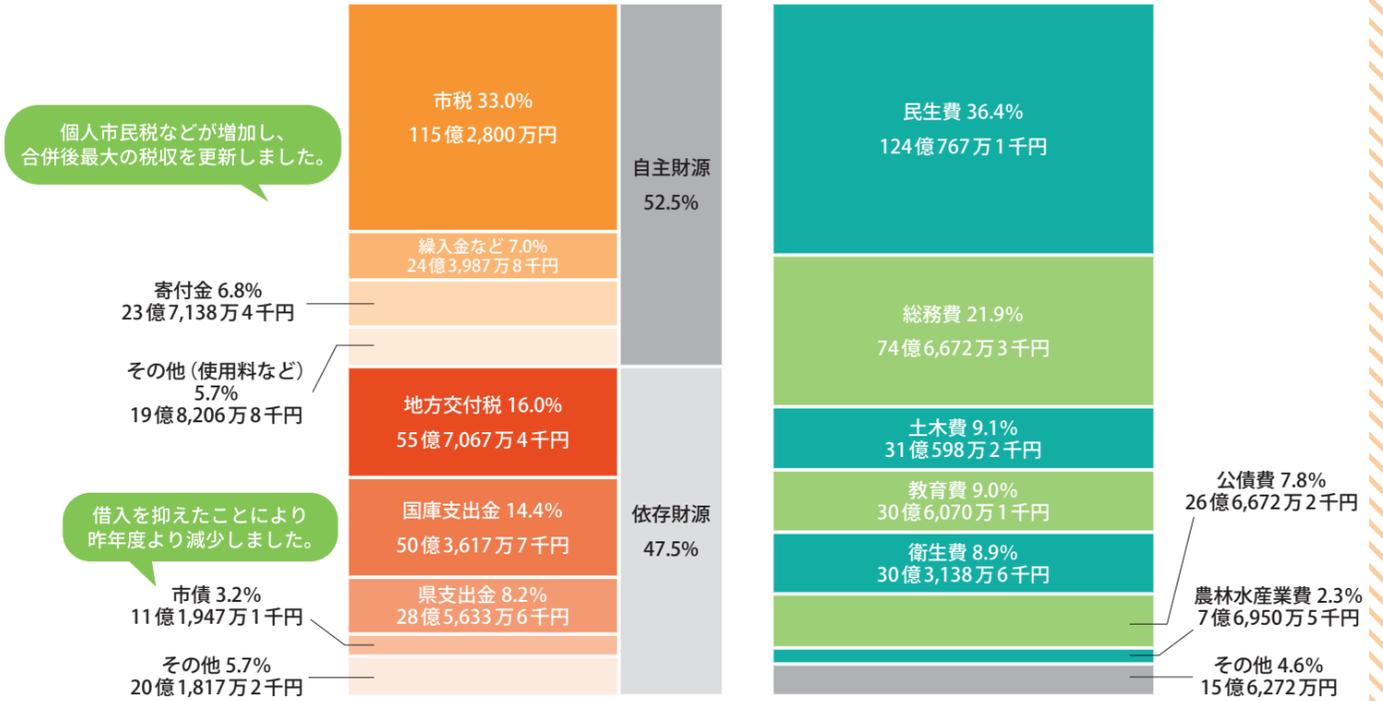
会計	歳入	歳出
普通会計	349億2,216万円	340億7,141万円
一般会計	348億6,540万円	340億1,495万円
大中の湖地区基幹 水利施設管理事業	3,350万円	3,350万円
文化会館事業	7,669万4千円	7,639万4千円
特別会計		
国民健康保険	80億7,513万6千円	80億4,804万9千円
後期高齢者医療	9億3,665万9千円	9億3,492万6千円
介護認定審査会 共同設置事業	3,181万円	3,181万円
介護保険事業 (保険事業勘定)	63億1,160万9千円	61億4,830万2千円
介護保険事業 (サービス事業勘定)	1,120万2千円	1,120万2千円
公営企業会計	収益	費用
病院事業会計	135億240万7千円	134億2,712万1千円
水道事業会計	16億4,111万8千円	14億9,508万5千円
下水道事業会計	20億972万8千円	19億8,196万円

歳入総額 349億2,216万円

歳出総額 340億7,141万円

個人市民税などが増加し、合併後最大の税収を更新しました。

借入を抑えたことにより、昨年度より減少しました。



# 財政は健全です。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行により、健全化判断比率などの公表が義務付けられています。各比率とも健全化基準を下回っており、財政状況が健全であることを示しています。

実質公債費比率

令和元年度 2.3%

25%

35%

収入に対する借金返済額の割合を表す「実質公債費比率」は早期健全化基準である25%を大きく下回っています。

早期健全化基準 (イエローカード)

財政再生基準 (レッドカード)

将来負担比率

令和元年度 負担なし

収入に対し一般会計が将来負担すべき借金などの割合を表す「将来負担比率」は、負担なしを維持しています。

350%

早期健全化基準 (イエローカード)

問 財政課 TEL (36) 5750・FAX (32) 3237

「ハートフルで市民が主役」のまちづくりをすすめるため、歳入に見合った歳出として予算を編成し、新たな歳入の確保や経費の節減に努めました。

詳しい内容は市ホームページで HP 15406



# 一年間の成果

令和元年度もさまざまな事業を実施しました。その一部をご紹介します。



岡山こどもの家



岡山紫雲こどもみらい園

## 岡山学区の学童保育施設と認定こども園が完成

9,361万7千円(岡山こどもの家整備事業)

2億8,753万1千円(岡山こども園施設整備事業)

岡山学区の地域防災拠点・地域活動拠点として、平成28年度から整備を進めてきた岡山コミュニティエリア。令和元年度に、学童保育施設である「岡山こどもの家」の整備を実施したことで、すべての事業が完了しました。また、平成30年度に全国的な工事資材の不足から工事を完了できなかった、民間の認定こども園の整備に必要な財政支援を実施。今年4月から「岡山紫雲こどもみらい園」として開園しました。



## 大河ドラマ「麒麟がくる」放送を契機に本市の魅力を発信

697万6千円

本市の魅力を発信・PRするためシティプロモーションを実施しました。現在放送中の滋賀県ゆかりの戦国武将・明智光秀が主人公の大河ドラマ「麒麟がくる」にあわせ、安土城跡を有する本市として絶好の機会ととらえ、地元商工会や市内企業、市民団体、行政などが一丸となり、本市の魅力を発信しました。11月には、JR安土駅の壁面を、安土城登り口の大手道から天主を見上げた巨大なラッピング画が彩り、歴史のまち安土をPRしました。



近江八幡市庁舎整備基本計画策定委員会



## 新庁舎建設に向け基本計画を策定

2,088万9千円

本庁舎の老朽化・耐震性の不足は喫緊の課題であり、シンプルでコンパクトな庁舎の建設に向け、「近江八幡市庁舎整備基本計画」を策定しました。この基本計画をもとに基本設計、実施設計と進め、令和5年度の竣工を目指します。



クラブハウス

## 健康ふれあい公園 クラブハウス・園路・多目的広場を整備

2億4,445万6千円

竹町都市公園(健康ふれあい公園)は5期に分け整備を進めています。令和元年度には、平成30年度から継続した第2期工事となる多目的広場の整備を完了し、第3期工事として、クラブハウスと園路を整備しました。今後、サッカー場やグラウンドゴルフ場、児童遊戯場の整備を進めます。



## 子ども医療費助成の対象世帯を拡大

1億3,163万円

本市では、小学1年生から中学3年生までの入院医療費の自己負担額を助成しています。平成29年度からは、通院医療費の自己負担額も一定の所得制限を設け助成しています。令和元年度からは対象世帯を拡大し、現物給付による無料化を実施しました。



園路



多目的広場